

都市再生整備計画 事後評価シート
金沢八景駅周辺地区

平成26年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	金沢八景駅周辺地区			面積	1,289ha				
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	5,517百万円	国費率	40%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	【公園】金沢八景西公園(仮称) 【地域生活基盤施設】御伊勢山・権現山緑地整備事業									
	当初計画から削除した事業		提案事業	【地域創造支援事業】駅周辺全体計画策定事業 【事業活用調査】駅東西連絡自由通路等歩行者ネットワーク改善事業									
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	【公園】金沢八景西公園(仮称)			関係機関等との調整に時間を要したため		当初設定した指標「歴史的資産の有効活用」について当該施設の完成を前提としていたため指標自体を削除				
			提案事業										
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	施設整備による市民満足度	割合	1	H21	1.2	H25		計測不能	-	ありなし ●	駅東西自由通路及び西側道路が完成しないと評価できないため計測不能	平成29年度
	指標2	緑の保全活動	人/年	550	H23	605	H25		624	○	ありなし -	愛護会等の管理やイベント活動に参加する人数の増加につながった。	-
	指標3										ありなし -		
	指標4										ありなし -		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	緑地の指定等の拡大及び買取・整備等により、保全活動人数が増加し、効果が出たものと思われる。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

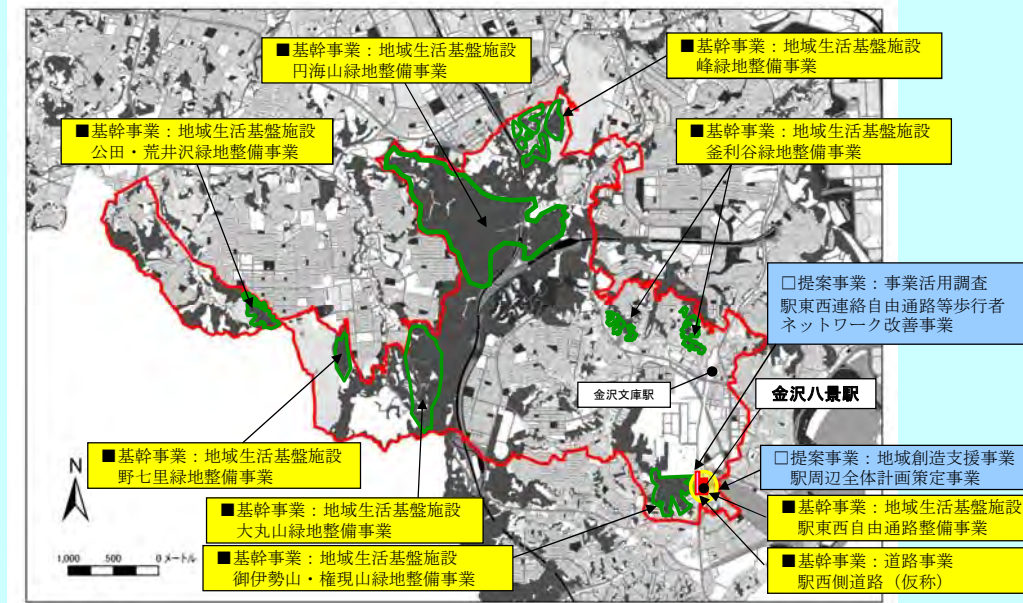
金沢八景駅周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値		評価値		
金沢八景駅東口地区土地区画整理事業や、金沢シーサイドラインと京浜急行金沢八景駅の接続にあわせて、金沢八景駅西側に広がる御伊勢山・権現山などの施設整備を図るとともに、横浜市大などの教育施設との交通動線の改善を図ることにより、駅を中心とした歩行者ネットワークの形成を図りつつ、歴史的資産や円海山・北鎌倉近郊緑地保全区域の円海山緑地、大丸山緑地など自然資源を活かしたまちづくりを推進します。	施設整備による市民満足度	単位:割合	1	H21	1.2	H25	計測不能	H25
	緑の保全活動	単位:人/年	550	H23	605	H25	624	H25
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H

円海山緑地整備事業



大丸山緑地整備事業



駅東西自由通路整備



※イメージであり、今後の設計等で変更となる場合があります

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 緑地整備事業及び東口土地区画整理事業の進展にあわせて、金沢八景駅の拠点性が高まりつつある中で、駅周辺の歩行者ネットワークの改善に向けて、各種条件整理や現状分析等を行い駅東西自由通路及び西側道路の整備に着手した。 地区の貴重な自然資産となる緑地の保全活動の拡充・推進及び持続についての検討が求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者ネットワーク改善のための基盤施設整備を、土地区画整理事業、金沢シーサイドライン延伸事業などの周辺事業と計画・施工面で連携しながら完了させる。 緑地の保全活動の主体となる愛護会の活動を支援するとともに、保全のための啓発事業やボランティアの育成を行うことで、保全活動の拡大・拡充を進める